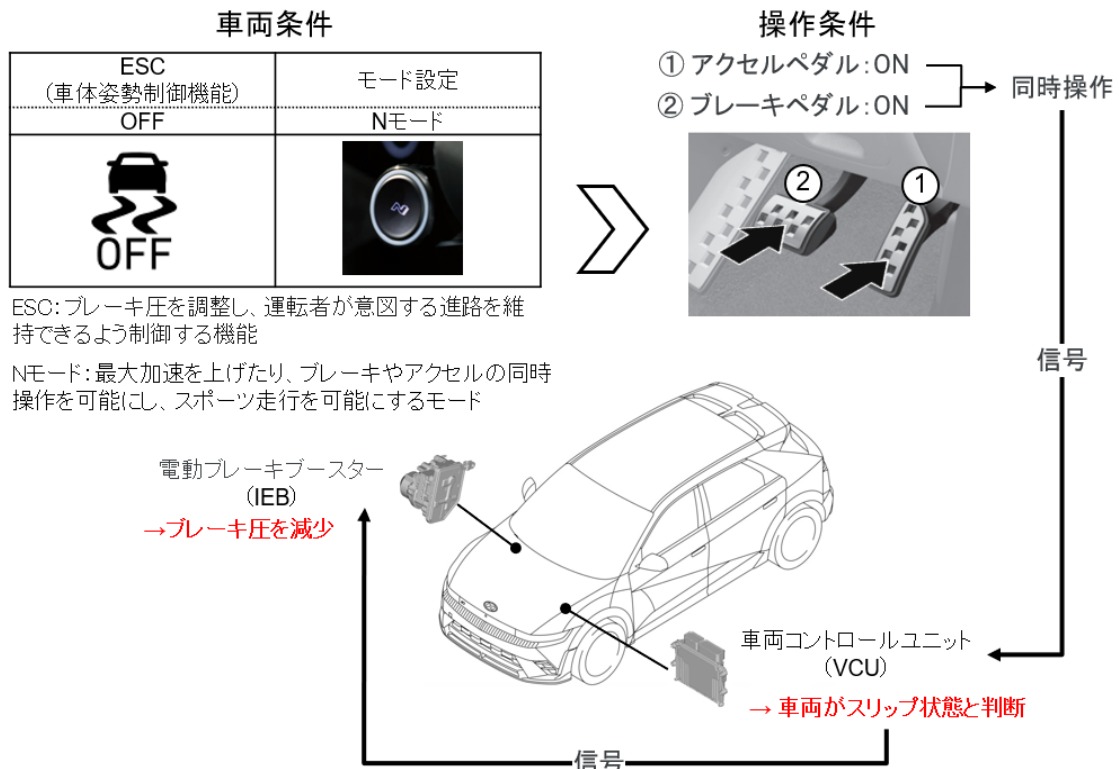


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

Nモードにおいて、設計検討が不十分なため、ESC を解除した状態での走行中にブレーキペダル操作及びアクセルペダル操作の信号が同時に VCU に入力されると、車両がスリップ状態と判断し、本来保持されるブレーキ圧力が保持されないことがある。そのため、車両が意図せず前進するおそれがある。

※Nモード: 最大加速を上げたり、ブレーキやアクセルの同時操作を可能にし、スポーツ走行を可能にするモードを指す。

改善の内容

全車両、VCU(車両コントロールユニット)及び IEB(電動ブレーキブースター)のプログラムを対策プログラムに書き換える。

なお、プログラムの書き換えは、対策プログラムを OTA (無線通信) で遠隔配信し、使用者自身にてインストールする。

識別: 対策が完了した車両は弊社システム内へ連携・管理される